2010-11年度今治ロータリークラブ週報　No.9

第９回例会報告（9月2日）

【　出　席　報　告　】

・会員数　５１名　・出席数　３８名　・欠席数　１３名

・当日出席率　８５．３６％　・前々回修正出席率　１００％

＜欠席会員＞原(竜)、檜垣(俊)、檜垣(巧)、飯、竹田、瀧幸

〔免除会員〕青野、原田、松本、宮本、村上、野間、八木

＜8/19欠席補填＞(8/9今治北)桑森　(8/16今治北)原(竜)、檜垣(俊)、檜垣(圭)、冠、川上、久米、松木、光藤、岡田、大澤、重松、竹田、吉田

◇**幹事報告**・９月９日（木）は月見夜間例会です。18:30より笹にて開催いたします。

会員卓話　㈱愛媛銀行　常務取締役　今治支店長　徳丸謙一氏

雑談的なお話をさせていただきたいと思いますが、銀行員ですから少し経済のお話をいたします。お配りしている『アメリカドルと日本円の為替相場と金利推移表』で、平成７年～平成22年の約15年間は日本の金利は約０％です。それに対しアメリカの金利は５・６％を維持し、平成14年に一気に下げ平成18・19年に引き上げ、リーマンショック後の平成21年に大幅に引き下げている。アメリカは政策で金利の上げ下げを行っているのに対し、日本は平成20年に引き上げを行っているだけで金融政策においていかがなものか。

平成８年～９年、貿易４兆円黒字です。今年は３～４兆円黒字です。しかし、景気は悪くこの実体のない不景気は内需の縮小です。貿易で成果を上げていますが、内需が足を引っ張っています。原因は、人口の減少、就業者数の減少です。100年に一度の不況といわれていますが、人口減少での経済的論理は確立されていません。では、どうすればよいのでしょうか。現在、金融資産の多くは60歳以上が持っています。この年齢層から市場にお金は流れません。30．40歳代の層にお金の流れを作りたい。その為には、年功序列の賃金制度の廃止、生前贈与の低年齢化、専業主婦を生産者にする雇用形態の確立などが必要ではないでしょうか。

景気不透明なこの時代においては、今の日本を築いた70・80歳代の方々に、お元気でもう一踏ん張りしていただいて、我々を引っ張ってもらいたいと思います。経済上方となるアドバイスを是非いただきたいと思います。最近読んだ本の中に、「枯れてたまるか！」という、アメリカのデビットブラウンというプロデューサー著者の本があります。とても興味深く読みました。皆様もこちらの本をご覧いただき、今一度奮起し、今治の経済、日本の経済をもう一度蘇らせたいと思います。

＜ゲスト＞　今治西高等学校　校長　藤田聡司様、　米山奨学生　張婷さん

次回例会（9月9日）

【　月見夜間例会　】

日　時：２０１０年9月9日（木）　１８：３０より

場　所：笹　（ＴＥＬ：２３－０００１）

※お土産のお団子をご用意しております。